

プロジェクト 公正価値測定に関するガイダンス及び開示

項目 本日の検討の概要

これまでの検討

1. 金融商品に関する公正価値測定に関するガイダンス及び開示について日本基準を国際的に整合性のあるものとするための取組みについては、第 122 回金融商品専門委員会（2017 年 11 月 21 日開催）（以下「専門委員会」という。）及び第 374 回企業会計基準委員会（2017 年 12 月 5 日開催）より検討を開始し、第 381 回企業会計基準委員会（2018 年 3 月 26 日開催）において、金融商品の時価のガイダンス及び開示に関して、国際的な会計基準との整合を図る取組みに着手する旨が確認されている。
2. その後、第 126 回専門委員会及び第 383 回企業会計基準委員会より検討を行っている。

専門委員会	企業会計基準委員会
第 126 回（2018 年 4 月 23 日開催）	第 383 回（2018 年 4 月 26 日開催）
第 127 回（2018 年 5 月 15 日開催）	第 385 回（2018 年 5 月 24 日開催）
第 128 回（2018 年 6 月 1 日開催）	第 386 回（2018 年 6 月 7 日開催）
第 129 回（2018 年 6 月 20 日開催）	第 387 回（2018 年 6 月 21 日開催）
第 130 回（2018 年 7 月 3 日開催）	第 388 回（2018 年 7 月 6 日開催）
-	第 389 回（2018 年 7 月 24 日開催）
第 131 回（2018 年 7 月 27 日開催）	第 390 回（2018 年 8 月 13 日開催）
第 132 回（2018 年 8 月 24 日開催）	第 391 回（2018 年 8 月 27 日開催）
第 133 回（2018 年 9 月 11 日開催）	第 392 回（2018 年 9 月 12 日開催）
第 134 回（2018 年 9 月 28 日開催）	第 393 回（2018 年 9 月 27 日開催）
第 135 回（2018 年 10 月 15 日開催）	第 394 回（2018 年 10 月 11 日開催）
第 136 回（2018 年 10 月 30 日開催）	第 395 回（2018 年 10 月 25 日開催）
第 137 回（2018 年 11 月 16 日開催）	第 396 回（2018 年 11 月 9 日開催）
第 138 回（2018 年 12 月 3 日開催）	第 397 回（2018 年 11 月 29 日開催）
	第 398 回（2018 年 12 月 13 日開催）
第 139 回（2018 年 12 月 25 日開催）	

なお、第 398 回企業会計基準委員会で聞かれた意見は、審議事項(4)-14 に記載している

本日の検討事項

3. 本日は、次の項目について、議論を行う。

- (1) 適用時期及び経過措置の検討（審議事項(4)-2）
- (2) 時価の定義及びガイダンスに関する会計基準の文案（審議事項(4)-3）
- (3) 時価の定義及びガイダンスに関する適用指針の文案（審議事項(4)-4）
- (4) 金融商品に関する会計基準改正案（審議事項(4)-5）
- (5) 金融商品会計に関する実務指針の改正案（審議事項(4)-6）
- (6) 金融商品会計に関する Q&A の改正案（審議事項(4)-7）
- (7) 金融商品の時価等の開示に関する適用指針の改正案（審議事項(4)-8）
- (8) 金融商品の時価等の開示に関する適用指針の改正案（開示例）（審議事項(4)-9）
- (9) コメントの募集及び公開草案の概要（審議事項(4)-10）
- (10) 棚卸資産会計基準の改正案（審議事項(4)-11）
- (11) 四半期財務諸表適用指針の改正案（審議事項(4)-12）
- (12) 外貨建取引等の会計処理に関する実務指針の改正案（審議事項(4)-13）

以 上